



山田こうじです！

物価高騰が暮らし直撃 消費税5%減税直ちに！



暮らし直撃！

コロナ危機に加えて物価の高騰が国民の暮らしと中小企業の営業を直撃しています。

昨年来、コロナ危機で止まっていた経済活動が各国で再開され、世界的な需要増で原油の国際価格が上昇しています。レギュラーガソリンは1ℓ170円を超え、昨年度同期比で30%以上値上がりし物価全体を押し上げています。

日銀総裁が大規模な金融緩和と政策を続けると繰り返し発言し、円安が一層進み、輸入物価が上がっています。輸入小麦は国内消費の9割を占めます。ロシアのウクライナ侵略

が追い打ちをかけ、ロシアとウクライナが世界輸出高の3割を占める小麦の輸入価格も上昇し、輸入小麦の政府売り渡し価格が4月に17.3%引き上げられました。

商売が続けられない！

「異次元の金融緩和」を押し進めてきた「アベノミクス」の破綻は明らかです。

あらゆる業種に物価高は深刻な影響となっています。

飲食店でお話を伺いました。JR花園駅近くの食堂では、「本来なら粗利益は7割だが、仕入れ値が上昇し、現状は5割にしかならない。夫婦二人とお昼の時間のパートで営業を続けているが、日商3万円程度で利益はない」との事でした。また別の食堂では「コロナ前から売り上げは4割ダウンだが仕入れは2割上昇している」と語っています。大映通り商店街の食堂では「昨年頃から食用油、ラードが何度も値上げされ、5割も上がっている。昨年暮れは品薄と

いうことだった」と話していました。また「ちりめん山椒の材料のジャコが2割値上げに。原価計算したら赤字だったので値上げせざるを得ない」

等深刻な影響です。中華料理屋さんでは「玉ねぎは3倍、プロパンガスも2割上がった」というお話でした。

洋菓子店では小麦粉が2.5キロで100〜200円上がり、さらに6月から200〜300円の値上げ、10月にもさらに上がると通知されているそうです。

お好み焼き屋さんには肉の値が上がっていると仰っていました。豚グラム72円が92円。牛肉は400が690円。小麦が10キロ5月に1800円から2000円。8月に2200円、10月には2400円に上がる。キャベツも通常の倍でひと玉200円が高止まり。500円のお好み焼きの原価が100円から倍の200円に上がったとの事でした。「コロナで減った客足は戻っていない。ゴールデンウィーク明け

実態調査と事業者支援を！

4月22日の産業交通水道委員会です事業者の実態を示し、京都市の認識と具体的支援を求めました。

萩生田光一経済産業相は3月30日の衆院経済産業委員会、コロナ禍の影響を受けた中小事業者を支援する事業復活支援金の対象期間が3月末で切れる下で「4月いっぱいまで新たな支援策を考えなければならぬ。直接支援を残すかを含めて政府全体で検討する」と、笠井亮議員（共）の質問に答弁しました。

京都市として事業者の実態調査を行い、独自支援が必要です。

消費税の引き下げは、物価高騰対策として最も効果があり、簡素で公平です。世界では84の国と地域で日本の消費税に当たる付加価値税の減税を実施しています。直ちに消費税減税を国に強く求める様に質しました。

まいごおき
ヨ田じいごですー！
NO.268

2月市会、知事選挙が終わり、大阪へ帰り、母のお墓に近況を報告してきました。母が亡くなったのは2018年2月28日でした。知事選挙を控え、2月市会の最中でした。亡くなる6日前の2日私が私の本会議代表質問でした。

私の代表質問を妹のスマホで見て「代表質問見たよ。お商売している人の為に頑張ってるんやな」と電話で激励してくれていたのが母との最後の会話でした。

末期がんで覚悟はしていましたが、24日に足がむくみ足が痛い入院。3月3日の父の誕生日に大阪へ帰る予定をしていましたが、その日を待たず亡くなってしまい、最後に会えなかったのが悔やまれます。

幸い父は94歳になります
が元気です。

